平成２６年度　第２回学校評議員会　＜議事録＞　　平成２６年１１月１０日（月）

（１）開　会　校長挨拶
　出　席　（学　校）後藤校長、目谷副校長、三條教頭（全日）、森教頭（定時）
　　（評議員）山口清悦、黒元浩志、太田隆久、岡田理恵　＜敬称略＞
　欠　席　（評議員）田代雄一　＜敬称略＞

（２）全日制部活動見学
・バドミントン部　・女子バレーボール部　・書道部　・美術部　・吹奏楽局　・放送局
・科学部

（３）定時制給食指導参観及び給食試食

（４）定時制授業見学（１校時）
・３年（数学Ａ）　・２年（生物基礎）

（５）学校概況の説明
・全日制　学校概要について（三條教頭）
・定時制　学校概要について（森教頭）

（６）平成２６年度学校評価集計結果（中間自己評価）について
・全日制　中間自己評価について（目谷副校長）
・定時制　中間自己評価について（森教頭）

（７）情報交換・意見交換
【全日制】
・黒元評議員：進路指導部の国公立大９０名という数値目標は達成できるのか。
（回　答）：今年度の３学年については北大だけで３０名以上の希望者がいるが、現在の模擬試験の結果分析からすると厳しい状況となっている。ただ、この数値目標については、数字や結果だけを追い求めるのではなく指導のプロセスを改善していくためのものであり、今後も高い目標を設定していきたい。
・太田評議員：いじめの問題は発生しているか。あるとすれば、どのような状況か。
（回　答）：年度初め（６月）のいじめアンケートでは出てこなかったが、全体で２件のいじめと思われる事案が発生している。それぞれ教育活動支援委員会と担任をはじめとして学年団の先生方が連携して、心のケアに当たっている。
・岡田評議員：進路指導部の自己評価が昨年度と比較して高い値となっているが。なぜか。
（回　答）：現在のところスムーズに分掌運営がなされていることと、昨年度と評価の観点が変更になった点も理由の一つと考えられる。
・黒元評議員：外部講師による進路講演会が実施されているが、進学費用をテーマにした話については、実態に即していない内容があった。信頼できる講師への依頼をお願いしたい。
（回　答）：保護者ＯＢの方々のご苦労された実体験を話す機会を設けることなども含めて検討していきたい。
・岡田評議員：不登校の実態はあるのか。あるとすれば、どのような対応をしているか。
（回　答）：２学年で２名、３学年で２名が不登校の傾向がみられたが、教育相談の結果、改善しつつある。一定の条件で授業への欠席率が５割を超えない場合は単位認定をするという対応を昨年度より行っている。
・黒元評議員：部活動の活動費について、ここ何年かでＰＴＡ会費の徴収額を引き下げたが、部活動の活動費が不足しているようなことはないか。
（回　答）：体文の活動費自体は減額していないが、各部ともやりくりには苦労している。今後、バス料金の高騰により、さらに苦しい状態になることも予想されるので対応を考えていきたい。

・黒元評議員：交通安全指導について、最近、歩きながらや自転車に乗りながらスマホを操作している生徒を見かけるが、自転車が軽車両という扱いになったことや事故で高額の賠償金が発生していること等も含め、ながら歩行・ながら運転の危険性を訴えるような交通安全指導はできているのか。

（ 回　答 ）：全日制は来年度から指導を強化する予定である。定時制については従来から自動車学校の講師を招くなどして交通安全指導を行っており、本年度も年度の初期に指導済みである。

・黒元評議員：ＳＳＨの評価は上がってきている。継続して取り組んでほしい。

（ 回　答 ）：昨年度は初年度ということで暗中模索の状態であったが、２年目になって教員も生徒も重点的に取り組むべきポイントがわかってきた。研究テーマの選び方や進め方についても質向上が見られるので、さらに良いものとなるように進めていきたい。

【定時制】

・岡田評議員：定時制の入学希望者の動きはどうか。各中学校への訪問等の広報活動はできているのか。

（ 回　答 ）：明日、１１月１１日（火）に定時制の学校説明会を実施予定で中学生２名の参加が確定している。本年度は学校パンフの制作が遅れたことなどから各中学校への訪問活動は遅れている。

・岡田評議員：４人の退学者が出ているが、どのような理由でそうなったのか。退学者が多いと定時制は無くなってしまうのではないか。

（ 回　答 ）：３名が今の仕事に専念するための進路変更、１名が病気の治療に専念したいという理由であり、いずれも勉強できる状況になればまた入学を考えたいということである。定時制存続については、２年連続して５月１日付けの１学年在籍者が１０名を切ると原則的に募集停止になってしまう。入学者を増やせるよう、今後も近隣の中学校等に積極的に本校定時制をアピールしていく。

・太田評議員：定時制の授業で高齢の方がいたが、どのような経緯で入学されたのか。

（ 回　答 ）：定年退職後、勉強をしたいということで入学された。すでに商業科の高校を卒業されているが、普通科への入学は可能となっている。

今後も中学校の新卒者だけでなく、高校中退者も含め幅広い層の生涯学習の場としての役割を果たしていきたい。